



皆様には日頃より、やしま浩久の議員活動に温かいご支援とご理解を賜り、心より感謝申し上げます。本来であれば、年頭のお慶びのご挨拶から始めるところですが、元日に令和6年能登半島地震が発生したため、差し控させていただきます。今回の地震では、多くの尊い命が犠牲となりました。被災された皆様、そしてその関係者の皆様に対し、心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。

さて、令和5(2023)年4月の統一地方選挙、富山県議会議員選挙におきまして2期目のご信任をいただきました。重ねて感謝申し上げますとともに、今後とも、富山県政発展のために、全力で取り組んでまいります。

そして5月には、新型コロナウイルス感染症の法律上の位置づけが5類に移行し、原則として社会経済活動に行動制限がなくなりました。このことをきっかけにお祭りをはじめとする地域行事が4年ぶりに再開され、私も地域の皆様と触れ合う時間が増えてまいりました。地域に密着した最前線の地元の声を伺うことができ、とても嬉しく感じました。エネルギー高・物価高、インフレ、人手不足対策などの経済安全保障、そのほか食料安全保障、国家安全保障の強化、少子化・人口減少、気候変動、さらには豪雨災害やこの度発生した大地震への対応など、将来に向けた社会課題が山積しており、政治家の果たす役割と責任について、改めて胸に刻んでいるところでございます。

県議会において令和5(2023)年度は、教育警務委員会委員長、ブランディング対策特別委員会委員を拝命し、日々富山県政に向き合っております。新田県政とも3年3か月のお付き合いとなりました。今回、令和6(2024)年度の年頭にあたり、昨年1年間の議会活動を中心に取りまとめ、県政の報告をさせていただきましたので、是非ご一読いただけると幸いです。

県民の皆様に分かりやすく、県議会のオープン化を心がけてまいります。毎回お伝えしておりますが、航海は生き物、地元を襲った令和6年能登半島地震を含め、荒波も乗り越え、復興に向けた新たな航海に向け、粉骨砕身の決意で全力を注いでまいります。

最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸、そして何よりも能登半島地震からの一日も早い復興を心から願ひまして、発刊のご挨拶と致します。

令和6年2月 やしま 浩久

2月定例会 (一般質問)

『地域ふるさとビジョン』より
「個と公」の調和型社会の実現について



〔質問〕 国道 415 号バイパス整備において、県道練合宮尾線の四方荒屋交差点から富山市打出地内までは開通したが、その西側小杉本江線までの 1.2km 区間について、整備の進捗状況と今後の取組は。

〈市井土木部長〉 国道 415 号は幅員が狭く大型車の通行に支障を来たすことから、区間を区切ってバイパス化の整備に取り組んでいる。令和 4 年度新たに着手した 1.2km 区間については、詳細設計を進めるため、現在は農道や水路の付け替えの調整を行っている。関係者との合意が得られれば、令和 5 年度に用地測量に着手し、早期完成に向けて整備を進めたい。



〔質問〕 移住者に対しての移住後や起業後の支援策、移住促進施策について問う。

〈新田知事〉 「移住のそのご」と銘打った移住者同士や移住者と地域住民とが交流する機会を設け、移住者の生の声を聞く取組を行っている。移住者の起業支援についても、資金面の支援のほかにもネットワークの構築や知名度アップの支援等も行っており、移住希望者の窓口相談件数も年々増加傾向にある。令和 5 年度も



VRを活用した移住相談や効果的な情報発信、移住者へのきめ細やかなフォローなど、受け入れ体制についても積極的にアピールして、移住促進を図りたい。

〔質問〕 工業用水道の安定供給に向けて、今後どのように取り組むか。

〈今井企業局長〉 西部工業用水道については、射水市内での度重なる漏水発生を重く受け止め、管路の老朽化対策の抜本的な強化に取り組んでいる。まず、これまでの更新計画を見直して毎年度の投資額を約 2 倍に

増額し、優先更新区間の整備の前倒しを図るとともに AI や IoT 等の最新技術を活用した漏水検知や管路管理に取り組んできた。令和 5 年度は、水道課に機能維持推進班を新設し、バイパスルートの検討と既存管路への制水弁の増設に取り組む。また、県立大学の DX 教育研究センターと共同で大口径管路での検知技術の実用化に向けての研究開発を行い、埋設管路周辺の土壌に適した県独自のシステム構築を進める。

〔質問〕 G7 富山・金沢教育大臣会合で、教育大臣の来県に際し、エクスカージョン（体験型視察）を通して富山県の魅力を大いに世界に発信すべきと考えるが、知事の所見は。

〈新田知事〉 教育現場や文化施設への訪問を通して、本県の高い教育力や先進的な取組に加え、文化芸術などをアピールしたい。また大臣の同伴者向けとして、県内の雄大な自然や多彩な歴史文化を紹介するコースを提案している。併せて、演出にこだわった歓迎夕食会や伝統技術を伝える記念品の贈呈、ロゴマークを活用した歓迎の装飾、美しい花々で町なかを彩るおもてなし事業など、様々な手法で魅力を発信したい。

〔質問〕 令和 5 年 3 月 19 日には富山・金沢こどもサミットが開催されるが、子供たちの意見や活動を G7 教育大臣会合にどのように反映させていくのか。

〈新田知事〉 現在、富山・石川両県の中高生たちが、自分と社会のよりよい未来のために自分たちにできることについて議論を重ねており、「こどもサミット」で取りまとめられた宣言を子供たちが各国大臣に直接説明して意見交換できる場を設けられるよう国に働きかけている。併せて、本県の先進的な教育の取組についてパネル展示等で紹介することで、子供たちの意見や活動を大臣会合での議論につなげられたらと考えている。子供たちには、国際会議を通じて、次の時代は自分たちが担うという強い気持ちで、自信と誇りを育ててもらいたい。

〔質問〕 G7 教育大臣会合のロゴマークに込められた思いと期待される効果は。

〈岡本経営管理部長〉 このロゴマークのデザインには、富山と石川が一体となって、教育大臣会合が世界中の子供たちの未来を照らす太陽のような存在になってほしいという願いが込められている。このロゴマークは、富山・



G7 EDUCATION MINISTERS' MEETING IN TOYAMA AND KANAZAWA
富山・金沢 教育大臣会合

(出典：富山県ホームページ)

石川両県の共催を象徴とするシンボルとして、たくさんの方の目に触れる場所に掲示して開催機運醸成に活用し、ひいては両県一丸となって大臣会合の成功につなげていきたい。

『豊かな暮らしビジョン』より
安全・安心を基盤とした豊かな暮らしの実現について



[質問] 令和7年度より国土交通省の新たな洪水予測システムの運用が始まるに当たり、河川の支流対策がこれまでどのように行われ、今後どのように取り組むか。

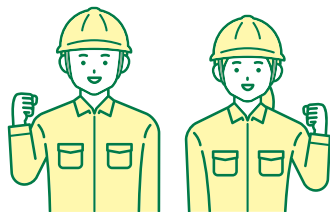
〈市井土木部長〉 一級河川の県管理の支流について、過去の浸水被害の状況やバックウォーターを考慮した改修計画に基づき、ハード対策に取り組んできた。現在、国では一級河川の洪水予測システムについて、支川も含めて予測が可能となるよう改修が進められており、庄川水系の和田川等の県内 15 河川の情報提供が可能となるが県のシステム改修が必要となる。洪水予測情報の提供は、自らの命を守る避難行動につながる重要なものであることから、ハード対策とともにソフト面の対策にも取り組んでいきたい。



大門水位流量観測所

[質問] 災害ボランティアに対する支援について、全国的に支援する広域自治体が増えている中で、本県は今度どのように取り組むか。

〈廣島生活環境文化部長〉 令和 5 年度の当初予算案に、災害ボランティアに参加する団体・グループに対し被災地までの交通費や宿泊費などを支援する制度、災害時のボランティア募集情報などを提供できる体制、これらの整備に必要な経費を予算計上した。引き続き、関係団体と連携して災害ボランティア活動の支援に取り組む。



[質問] 災害が激甚化・頻発化する中で、災害弱者やペットを含めたマイタイムラインの策定はなかなか難しいのが現状。昨今、インクルーシブ防災の考え方が普及しつつあるが、県民防災意識の向上や災害弱者への支援に今後どのように取り組むか。

〈新田知事〉 県民の防災意識の向上のために、幅広い年齢層を対象とした防災イベントを開催したり、防災士養成研修の受講定員を倍増したり、受講料も一部無料とした。災害弱者への対応としては、市町村で個別避難計画を策定したり、担当者会議を開催して福祉避難所の確保のための先進事例の紹介や意見交換を行ったりしている。今後も、災害弱者を取り残さず、全ての県民の安全・安心が守られるよう、市町村と共に取り組んでまいらる。

[質問] 犯罪が複雑化する中で、富山県警察では防犯カメラについての新しい事業（安全安心見守りカメラ事業）に取り組むと聞いたが、狙いや期待される効果は。

〈杉本警察本部長〉 平成 30 年から 5 か年計画で防犯カメラの貸出事業を実施し、希望する自治体等に計 417 台を貸し出しており、そのうち 387 台（約 93%）で買取りが行われ、防犯カメラの有効性の認知と設置促進が図られてきたと考えるが、設置が十分でない状況でもあった。令和 5 年度からの安全安心見守りカメラ事業では、設置台数の制約を見直し柔軟に選定することとしている。地域住民が不安に感じる危険個所に重点的に防犯カメラを設置することで、犯罪に強い環境整備を促進していきたい。

[質問] 本県の外国人犯罪の現状は。近年の特徴や推移について、県警ではどのように分析して、どう取り組んでいるのか。

〈杉本警察本部長〉 平成 30 年から令和 3 年までは増加していたが、来日外国人の減少により、近年では外国人犯罪の検挙状況は減少傾向にある。国籍別で最も多いのはベトナム人、次いで中国人で、刑法犯の罪種では窃盗が最も多く約 7 割を占め、特別法犯では入管法違反が最も多く約 5 割を占める。犯罪インフラや水際対策等の諸対策を効果的・効率的に推進するため、関係機関との連携強化を図り、県民の安全・安心の確保を推進する。併せて、来日外国人が犯罪被害に巻き込まれることを防ぐため、指定通訳人を交えた三者通話システムの活用や外国語版の生活安全パンフレットの整備など、外国人の安全確保に向けた対策も推進していく。

『産業ビジョン』より
「国際化」を見据えた産業振興について



[質問] ベトナムに新たに設置したビジネスサポートデスクや、ハノイ市内にあるベトナム計画投資省内に設置する富山デスクについて、設置に至った経緯と、県として今後期待する効果は。

〈中谷商工労働部長〉 県内企業の海外展開支援策を検討するため、令和 3 年度にサンドボックス枠予算を活用

して実態調査を実施したところ、進出先国として最も多かったのがベトナムであり、期待する支援策として販路開拓や現地拠点の支援を求める声が多かったことから、令和4年10月にベトナム現地での相談窓口や支援拠点を設けることとした。またベトナムはコロナ禍でも安定的に経済成長を続けており、サプライチェーン確保の観点からもベトナムと経済交流を強化する覚書(MOU)を締結した。これらを連携させ、県内事業者のベトナム進出や販路拡大を総合的に支援したいと考える。

富山デスク (ベトナム・ハノイ)
富山県内企業のベトナムにおける事業展開をサポート



富山県では、県内企業のベトナムでのビジネス展開をサポートするため、ベトナム・ハノイに富山デスクを開設しました。

「富山デスク」が富山県企業のベトナムでのビジネスをサポートいたします！

対象企業: 富山県内に本社または事業所を有する事業者 費用: 無料
(ベトナムへ進出済みの県内事業者を含む)

- ①ベトナムでのビジネスに関する県内企業からの総合的な相談の受付
 - ・法令の解釈等に関する相談、現地での許認可手続(手続の迅速化)の相談等
- ②ベトナムでのビジネスに関する情報の収集、整理、提供等
 - ・現地物価、市場動向、時事・政治ニュース、法律、政策等の情報収集・提供
- ③ベトナム計画投資省外国投資庁などベトナム政府機関等との調整
 - ・県内企業向けセミナーの開催等

その他のサポートについても、お気軽にご相談ください。

(「富山デスク」チラシより一部抜粋)

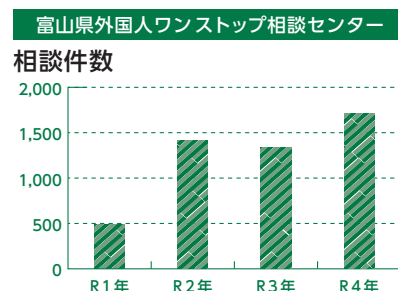
〔質問〕 本県の労働力不足解消に向け外国人労働者の活用を図る必要があると思われるが、今後どのように取り組んでいくのか。

〈中谷商工労働部長〉 県では、県外国人材活躍・多文化共生推進プランに基づき、ニーズに応じた外国人材の活用や活躍への支援に取り組んでいる。具体的には、ベトナムの理工系大学の優秀な人材を確保して県内企業とマッチングを支援する事業や、技能実習生への支援として技能検定取得講習や日本語学習への助成、ス

ピーチコンテストの開催等の支援を行っており、引き続き外国人材の活用、活躍を支援してまいりたい。

〔質問〕 富山県外国人ワンストップ相談センターの、外国人や県内企業による活用状況は。

〈廣島生活環境文化部長〉 令和元年に開設した相談センターの相談件数は毎年1,400件前後で推移しており、一定程度、存在が浸透してきていると考えている。相談の内容は、多言語対応の病院の紹介や、学校の通知文に対する翻訳の依頼といった生活関連の相談が7割ほどとなっている。県内企業からは、外国人の雇用方法や在留資格等の相談が増えており、今後も増加が想定される。県としては、外国人住民はもとより、県内企業も円滑に活動できるように、センターのPRや相談体制の充実にも努める。



〔質問〕 令和6年に一般開放される「黒部宇奈月キャニオンルート」について、新ルートを生かした観光誘客、県内への滞在、周遊を図るための取組は。

〈南里地方創生局長〉 旅行商品化に当たっては、宿泊を前提とした商品パッケージを中心に検討しており、県内の市町村には売り込みたい観光素材の提案や整備を呼び掛けている。例えば、日本のベニス内川をはじめ県西部の観光と宿泊を組み合わせ、県西部地域への周遊促進や県内での滞在時間の延長も期待できる。今後は北陸3県とJRが連携して、キャニオンルートや県内の観光素材を積極的に売り込んで、一般開放の効果を県下全域に波及させるよう努める。



9月定例会(予算特別委員会)

『豊かな暮らしビジョン』より
安全・安心を基盤とした豊かな暮らしの実現について



〔質問〕 富山県では、浸水想定区域内にある指定避難所の割合が全体の約56%で全国ワースト1位であるが、指定避難所の安全性はどのように確保されているのか。

〈武隈危機管理局长〉 本県は急流河川が多く、平野部の大部分が扇状地で起伏が少ないことから、浸水想定区域内にある公共施設をやむを得ず避難所に指定していることが多い。そのため、民間事業者と一時避難の協定を結んだり、緊急避難場所から避難誘導し直すといった運用上の工夫をしたりしながら安全避難の確保に努めている。今後も市町村と連携して、指定避難場所の見直しや緊急避難場所を活用した避難誘導など、有効な浸水被害対策を講じたい。

〔質問〕 民間事業所の協力も得ながら、市町村の境界を越えて避難所・避難場所を確保することが、より安全な地域づくりに資すると思われるが、所見は。

〈武隈危機管理局长〉 富山市では民間事業者に避難場所提供の呼びかけや募集を行っており、魚津市では集会所等で自主的に開設する避難所を届出避難所として登録する制度が設けられている。その他の市町でも様々な取組があり、今後も市町村と連携しながら有効な取組を進めるとともに、より安全な避難体制の充実に努めたい。

〔質問〕 県の総合防災訓練は、豪雨災害と地震との複合災害を想定して行っているため、避難行動の違いに誤解が広がる懸念される。テーマを絞って実践的な訓練をすべきではないか。

〈武隈危機管理局长〉 複合災害を想定するメリットは、起こり得る最悪の事態を想定しやすく、多くの関係機関と連携を強化できること、また住民には災害の種類に応じて取るべき避難行動の違いを一度の訓練で経験してもらえることである。一方で、その避難行動の違いが住民の皆さんに正しく伝わらない恐れもあるため、災害の種類に応じて適切な判断と有効な避難行動が取れる実践的な訓練となるよう、被害想定や訓練内容の設定について工夫してまいりたい。

〔質問〕 用水転落事故の絶無を図るため、知事から「ソフト面での対策を強化する」とのコメントもあったが、どのように強化に取り組むか。

〈新田知事〉 農業用水路の安全対策としては、計画的にハード整備を進めることと併せて、ワークショップや会合に出向き対面で啓発するといった広報活動などのソフト対策を組み合わせた取組を行っている。令和5年度からは富山県警と連携してパトロールや呼びかけ

活動を行ったほか、「用水だ!君」というキャラクターを使って、SNS上での呼びかけも行っている。ソフト面の強化では個人への注意喚起だけではなく、家庭内での呼びかけが大変重要であり、県民の皆さんにもご協力いただいで県民運動として展開したい。



(出典: 富山県公式 note)

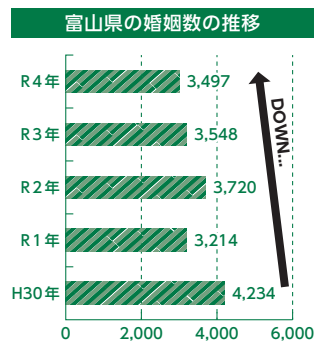
〔質問〕 今年の夏は異常な暑さだったが、この夏の経験を生かして、熱中症防止や予防対策の推進にどのように取り組むか。

〈荻布教育長〉 県教委では学校における熱中症対策に万全を期すよう、暑さに向かう前のタイミングで文書を発出して、各県立学校に注意喚起を行っている。これを受けて学校側では、各学校の実情に合わせた熱中症事故防止の体制づくりに努めており、部活動においても暑さ指数や熱中症警戒アラートの情報を活用しながら適切な熱中症対策を講じて実施している。教員の危機管理意識の向上に向けても働きかけ、生徒が安全・安心に部活動に取り組むことができるよう取り組む。

〔質問〕 本県におけるハッピーウェディングの過去5年間の婚姻数の推移と、adoor (とやまマリッジサポートセンター) の成果をどのように認識しているか。

〈川津知事政策局长〉

令和4年の県内の婚姻数は3,497組で、5年前と比較すると738組(17.4%)の減となっている。その中で、adoor (とやまマリッジサポートセンター) では令和4年度に22組成婚しており、数としては過去最高となっている。必ずしも婚活サービスだけで結婚まで至る方は多くないが、婚活サービスを活用する人の割合は近年増加傾向にあることから、県としてはadoorの取組を更に充実させるとともに、成婚数の増加に向けた取組を進めていきたい。



〔質問〕 結婚新生活支援事業について、県内の各市町村の取組状況と地域間格差解消に向けた県としての働きかけは。

〈川津知事政策局长〉 20代、30代で結婚していない人のうちの大半はいずれ結婚したいと考えており、結婚していない理由として結婚に伴う費用を負担に感じている人が相当数いるとの調査結果が出ている。県では市町村と連携して、住宅取得や引っ越し費用等を助成する国の結婚新生活支援事業にかさ上げする形で補助を行っており、取り組んでいる市町村数も令和4年度

の8団体から令和5年度は12団体に増加しており、今後も未実施の団体にも働きかけていきたい。

[質問] こどもまんなか応援サポーターの支援について、具体的にはどのように進め、どのような効果を期待するのか。

〈新田知事〉 県と市町村がワンチームとなって、子育て家庭への経済的支援や保育の充実、困難を抱える子供への支援策の推進などを行うこととしており、令和5年度は産後ヘルパーの人材確保や民間団体が行う子供の居場所づくりへの支援に取り組んでおり、令和6年度からは「出産・子育てポイント制度」の創設および第3子以降の保育料の完全無償化を実施する。県全体で様々な施策を積み重ねることで、全ての子供がウェルビーイングを高めながら成長する、こどもまんなか共生社会の実現に繋がることを期待する。

[質問] 県内のヤングケアラーについて、県の取組状況と今後の対策は。

〈松井こども家庭支援監〉 令和5年10月にヤングケアラー支援ネットワーク会議を設置し、認知度の向上や連携体制の構築、ガイドラインの策定に向けて協議を行う。特にガイドラインは、連携スキームや支援機関の対応方法などを盛り込み、各地域によって一人一人のケアラーの支援を検討する際に活用できる指針にしたいと考えている。ヤングケアラーは家庭に複合的で困難な課題を抱えている状況があることから、様々な機関や団体からの重層的な支援が必要である。市町村をはじめ多くの関係機関や団体と連携して、ヤングケアラーの認知度向上や早期発見、適切な支援につなげるよう努める。

[質問] 障害者雇用促進のため、法定雇用率が未達成となる企業に対して課題をどのように捉え、どのように取り組むか。

〈中谷商工労働部長〉 県ではこれまで富山労働局と連携して障害者雇用の促進に向けて取り組んできた結果、令和4年の県内企業の障害者雇用率は2.24%で法定雇用率2.3%に近付くところまで上昇してきている。しかし、個々の企業に目を向けると障害者雇用ゼロの企業が多く、障害者雇用に関するノウハウが乏しいことや今後も段階的に法定雇用率が引き上げられることが課題である。県では、初めて障害者を雇用するための取組方法を分かりやすく説明するセミナーを開催するなど、労働局と連携して未達成企業対策を拡充し、働くことを希望する障害者が一人でも多く仕事に就き、経済的自立や社会参加が実現されるよう取り組む。

障害者の法定雇用率

	R5年度	R6年4月	R8年7月
法定雇用率	2.3%	2.5%	2.7%
事業主の範囲	43.5人以上	40.0人以上	37.5人以上

『地域ふるさとビジョン』より
「個と公」の調和型社会の実現について



[質問] 企業版ふるさと納税について、寄附金額増に向けた取組と寄附目標額は。

〈竹内地方創生局長〉 県としては、より多くの企業から御寄附をいただけるよう、一層分かりやすい用途の明示や寄附企業のイメージアップや認知度向上に繋がるようなPRの強化に努めていきたいと考える。なお、寄附金額の目標を設定することについては、企業に一定の負担をお願いするものであることなどを踏まえると、慎重な検討が必要である。

[質問] 県の男性職員の育児休業取得状況は。また、取得促進のため、どのように取り組んでいるか。

〈南里経営管理部長〉 県庁職員の育児休業取得率は、平成30年度の4.7%から令和4年度は48.1%まで上昇している。こども未来戦略方針において示された令和7年までの目標は85%以上とされ、高い目標だがしっかり取り組んでいく必要がある。県では男性職員の育児休業取得促進のため、所属長代理が子育て支援推進員となって子育てパパサポートプランを作成して休暇状況を確認したり、円滑なサポートに貢献した代替職員に対し適切に業績を評価する取組を進めたりしている。男性の育休取得が当たり前となるよう、県庁の意識改革と機運醸成を推進したい。

『産業ビジョン』より
「国際化」を見据えた産業振興について



[質問] エネルギー開発の分野において、民間が参入しやすい環境をどのように整えていくか。官民連携の取組について知事の所見は。

〈新田知事〉 本県はその地形的な特徴から水資源を豊富に有し、水力発電事業は富山県カーボンニュートラル戦略の重点施策にも位置付けられている。また小水力の



庄発電所(庄川右岸幹線用水路)

(出典:富山県ホームページ)

エネルギー量は既に全国1位であり、現時点でかなり進んでいる。今後さらに進めていくには採算性の確保や送電面での課題などが考えられるが、採算性が見込める地点を選び出して公表することで、民間事業者をはじめとする多様な主体に参入を促すことにしている。2050年のカーボンニュートラル戦略に基づいて、安定した再生可能エネルギーである小水力発電を、県としてできるだけ増やしていきたいと考えている。

11月 定例会 (一般質問)

『地域ふるさとビジョン』より
「個と公」の調和型社会の実現について



〔質問〕射水市庄西地区の不法係留船対策について、官民の係留保管施設の状況も踏まえて、今後どのような取組を進めるか。

〈市井土木部長〉不法係留船は河川や港湾の管理上、支障となることから、行政や地元関係者による協議会を設置し、規制する区域を指定した上で対策を行っている。「水橋」や「黒部」、「内川、新堀川、新湊漁港等からなる新湊」の3地区での対策は完了しているが、射水市庄西地区では令和4年10月現在で40隻の不法係留船が確認されており、不法係留船対策協議会において対策方針を協議し、令和6年1月以降に船舶所有者に移動を働きかけることとしている。不法係留船の早期解消に向けて取り組んでまいりたい。



〔質問〕国は令和5年6月に自治体に対して、漁港における釣り利用についてのガイドラインを公表したが、県内漁港における対応状況と、安全利用対策を含む今後の取組は。

〈津田農林水産部長〉全国的な漁港でのトラブルなどを背景に「漁港における釣り利用・調整ガイドライン(案)」が水産庁より公表された。現在、県や市町の漁港管理者において、高波や転落事故の危険性がある場所については看板等による注意喚起に加え、防護柵等により釣り人の漁港利用を制限している。一方で釣りなどの海洋性レクリエーションの振興が漁村の活性化に繋がるものと期待されることから、安全に釣りを楽しめる環境整備について検討してまいりたい。

〔質問〕「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟する活動状況について、どのような周知活動を行っているのか。

〈竹内地方創生局長〉民間団体が行う、湾を活用したビーチフェスティバルやトライアスロン大会等のイベントを支援したり、民間応援組織「美しい富山湾クラブ」の会議や韓国で開催された「湾クラブ世界総会」等に



参加して富山湾の魅力を発信したりしている。富山湾が「世界で最も美しい湾クラブ」に加盟し令和6年で10年となることから、これまでに構

築したネットワークを更に活用し、富山湾のブランド価値向上につなげたい。

『豊かな暮らしビジョン』より

安全・安心を基盤とした豊かな暮らしの実現について



〔質問〕市町村にまたがる広域的な災害が発生した場合、市町村ごとに避難指示の判断が分かれ混乱を招く恐れがある。県としての対策を予め検討する必要があるが、所見は。

〈武隈危機管理局长〉6・7月に発生した豪雨災害では避難指示発令の際に市町村で判断が分かれており、発生時間を考慮して「屋外への避難誘導が逆に危険と判断」した市町村は発令しなかった。県としては、住民が混乱しないように市町村が適切に避難指示を発令することを支援する立場であり、市町村へ迅速に情報提供しているが、円滑な避難が行われるよう気象情報から災害リスクを分析して適切な助言を行えるような仕組みづくりを検討したい。

〔質問〕災害発生時における高齢者の避難支援に向けた取組の現状と今後について。

〈武隈危機管理局长〉市町村の「個別避難計画」を策定したり、福祉避難所の確保が進むよう市町村担当者会議で先進事例を紹介したりしている。ご紹介いただいたプッシュ型情報配信システムを活用した「逃げなきゃコール」は高齢者避難に有効であるが、本県ではこれまで周知を行っていないため、このようなアプリを活用した取組や先進事例を取り入れて、高齢者の避難支援の充実に取り組んでまいりたい。



(出典：国土交通省ウェブサイト)

〔質問〕6・7月の豪雨災害を踏まえ、「ダム管理者としての対応について検討する」とされていたが、現在の検討状況は。

〈市井土木部長〉ダム管理者の対応として有効な対策の一つに事前放流がある。現在、国において線状降水帯や洪水等の予測精度の向上が進められており、その動きを注視しつつ、県管理ダムの洪水調整容量の確保に努める。一方ソフト対策では、平常時の備えとして「ダムの役割や放流に関する住民説明会の開催」や「情報伝達から実働までの防災訓練の実施」等の方策の実施を検討しており、住民の適切な避難行動に結びつく、迅速で有効な情報提供の実現に向け準備を進める。

【質問】「こどもまんなか共生社会」の実現に向けて、今後市町村と連携してどのような取組を進めるのか。



〈新田知事〉「こども・子育て施策の連携・強化」について協議を行い、令和5年度は①プレ妊活健診、②こども食堂トップセミナー、③ヤングケアラー関係職員研修会の開催に取り組んだ。令和6年度からは①出産・子育て支援ポイント制度、②第3子以降の保育料完全無償化、等について市町村と連携して準備を進めている。今後も、こどもを真ん中に据えた「こども・子育て施策」に全力で取り組む。

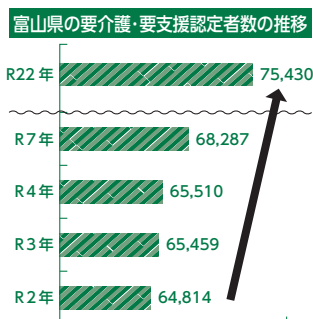
【質問】超高齢化社会に向けて、健康寿命を延ばし、介護を必要とする者を減らすことが重要と考えるが、今後どのような取組を進めるのか。

〈新田知事〉健康面については、食生活の改善に向けた取組やリハビリ専門職の派遣を通じてフレイル対策を支援したり、口腔機能の維持向上のため8020運動に取り組んだりしている。生活面については、eスポーツイベントの開催やエイジレス社会活動実践塾など社会的役割を持てるような取組を進めている。高齢者のウェルビーイングが向上するよう、市町村等と連携して健康と生活の両面の施策を推進してまいりたい。



【質問】本県における近年の要介護・要支援認定者数の推移と今後の将来推計および介護人材の需給推計は。

〈有賀厚生部長〉本県の要介護・要支援認定者数は、緩やかな増加傾向にあり、今後は団塊の世代やそのジュニアの世代が節目の年齢を迎えるタイミングで大幅に増加することが見込まれる。本県の介護職員数は令和3年度で19,551人と、必要数に対して不足しており、その傾向はますます進むものと見られている。また、本県の介護職員初任者研修課程の受講者は500名前後で、ここ3年は横ばいで推移している。



【質問】介護人材確保のため、若者に対する介護職のイメージ向上策に向けた取組は。

〈有賀厚生部長〉県はこれまでも、小・中・高校生に

対してバスツアーや出前講座の実施等を通じて、介護の仕事の魅力や大切さを伝え、積極的な普及啓発活動に取り組んできた。令和5年度は新たに、YouTube等を活用してイメージアップ動画の情報発信をしたほか、サンドボックス予算を活用して有償インターンシップ事業の試行を実施した。今後も若者をはじめ多くの方に魅力を感じ就業していただけるよう努める。

『産業ビジョン』より
「国際化」を見据えた産業振興について



【質問】海中や漁港における漁業廃棄物の処理が問題になっているが、現状をどのように認識し、今後どのような対策をとるか。

〈津田農林水産部長〉鉛が編み込まれた漁網やロープは、県内に処理業者がなく、鉛の分別が難しいことから漁業者にとって負担となり、漁業廃棄物として漁港等に放置されるケースがあった。こうした中、鉛を精錬原料として、プラスチックを熱源として利用できる漁網リサイクル施設が県内に整備され、廃棄物放置の未然防止や環境負荷の低減に資するものとして期待している。まずは、このような施設の利用が進むよう努めてまいりたい。

【質問】全国の再生可能エネルギーの状況と比較した本県の現状と今後の戦略方針は。

〈新田知事〉全国の再生可能エネルギーによる電力は日本全体の発電電力量の22%程度であるのに対し、富山県内では県内の電力消費量を全て賅うほどの103%の電力が再生可能エネルギーによって生み出されている。県では、民間参入の促進や太陽光発電・地下水熱設備導入の補助に取り組んでおり、これからも特色を活かした再生可能エネルギーの導入拡大に取り組む。

【質問】富山-台北便の定期便運航再開に向けた現在の調整状況と、実現に向けた今後の取組は。

〈田中交通政策局長〉先般、令和6年1～3月の週2便体制で臨時便運航が決定し、4月以降の再開に向けて協議している。定期便再開のためには臨時便での利用実績が重要であり、インバウンドやアウトバウンド旅客需要を刺激するような広告宣伝や利用促進事業を計画している。台北市士林区と友好交流都市協定を締結した射水市をはじめ多くの市町村や関係団体で台湾との交流事業も行われており、今後も関連団体と定期便再開に向けて連携を図って取り組む。



常任委員会での質問

常任委員会とは…

県議会には、議員全員が参加して議会の最終決定を行う「本議会」と本議会の議論を踏まえて予算を審査する「予算特別委員会」のほかに、県政の諸問題を専門的に調査・審査する「常任委員会」が設置されています。

議員は、分野別の5つの常任委員会のいずれかに所属し、議員の質疑に対して県当局から答弁があります。

2月定例会 常任委員会（県土整備農林水産委員会）

富山県農林水産物の輸出促進について

〈八嶋〉富山県産の農林水産物を急速凍結技術により輸出するためには、どのような冷凍設備のインフラ整備が必要なのか。

↓
〈伴市場戦略推進課長〉本県ではプロトンという凍結技術は有していないが、急速冷凍技術を活用した冷凍食品と冷凍可能な商品を混載して、ホタルイカ・ますずし・シロエビのかき揚げ・昆布巻き・かまぼこの5品目の輸出を試験的に行っている。現在は冷凍を各社独自で行ってもらい、民間の冷凍保税倉庫に一旦集荷して、その後冷凍コンテナへ混載するという手順を踏んでいる。現地の商社からは食べ方を示すフェアを開催してほしいとの要望を受けているので、まずは冷凍可能な食品の開発や現地でのテストマーケティング等を進め、商流の確立を目指したい。



地熱発電への取組について

〈八嶋〉地熱発電事業には公が戦略的に関わる必要があると思うが、所見は。

↓
〈森田電気課長〉地熱発電はその実現までに多額の費用と長い期間がかかる事業であり、事業者は国からの支援を得て開発に取り組むことが一般的で、県の企業局では立山温泉地域において、開発の可能性調査を進めてきた。現時点では開発は難しいという厳しい意見もあるが、広さ・深さを広げて調査を続け、立山温泉地域へ適用できる新たな技術を模索するとともに支援の拡充を国へ要望していきたい。

新湊大橋について

〈八嶋〉新湊大橋は令和5年に開通10周年を迎えたが、事故や危険防止のための安全対策は。



↓
〈三鍋港湾課長〉風速毎秒25メートル以上の暴風や路面凍結により通行に支障があると判断した場合に通行止めの措置を取ってきたが、主塔部からの落雪による車両の損傷事故が発生したことから、一定程度の降雪があり、日中の気温上昇などで主塔部分からの落雪が見込まれる場合には、監視カメラで状況把握した上で通行止めを実施し、雪庇落としを実施する。また、通行止めなどの規制情報については、利用者にリアルタイムにお伝えできるよう電光掲示板による表示と併せてSNSでの情報発信を行っている。



〈八嶋〉あいの風プロムナード部分の窓が鳥獣被害により汚れて景観を損ねている。窓の清掃をルーティーン化してはどうか。

↓
〈三鍋港湾課長〉令和3年4月に窓の清掃を行ったが汚れが目立ってきているとのことから、令和5年度の早い時期に実施予定としている。新湊大橋からの眺望を楽しめるよう、汚れ具合の確認を適宜に行い、状況に応じて清掃を実施して適切な維持管理に努める。

2期目に入り、議席が10番から

19番になりました！

議席番号の数字が大きくなったことにより背負う責任もひとしお大きくなりました。



令和5年5月 県議会臨時会において、

教育警務委員長に就任しました！

教育警務委員会では、教育委員会、公安委員会の所管に関する事項を調査・審査します。委員長は、議事を円滑に進める重要な役割を担います。令和5年の開催状況は以下の通りです。

開催日：5月2日、6月7日・26日、9月5日・28日、11月22日・12月13日

教育委員会所管に関する質疑

- 中学校の運動部活動
- 不登校児童生徒の支援
- 県立高校の空調設備設置・学食
- 県立高校の再編統合
- 県立高校普通科の通学区域
- 県外学生の受け入れ
- 教員採用試験
- 教員の休職・離職
- 教育委員会・県立高校の在り方 などについて

公安委員会所管に関する質疑

- 警察署新庁舎整備のPFI導入
- 警察署の再編
- 外国人の交通事故防止対策
- 信号機のLED化とバリアフリー
- かけ間違い110番通報による業務への影響
- ひき逃げ事件検挙への取組
- 警察官の休職・離職・人材確保
- 自転車の交通ルールの周知と遵守の徹底
- サポート詐欺 などについて

令和5年5月 県議会臨時会において、

3つの特別委員会が設置されました！

地域公共交通対策特別委員会

持続可能な地域公共交通のあり方、地域公共交通の活性化やまちづくり等に関する調査を行います。

こどもの未来対策特別委員会

少子化対策をはじめ、こどもの貧困や児童虐待、ひとり親家庭支援やいじめ対策など、長期的な視点に立ったこども政策全般に関する調査を行います。

ブランディング対策特別委員会

魅力ある観光地づくり、輸出を含めた農畜産物や水産物等のブランド力強化、文化資産の活用、国内外への発信力強化等に関する調査を行います。

八嶋は
こちらに
所属

自由民主党富山県議会議員会

政務調査会 文教公安部会長に就任しました！

政務調査会5部会

企画財務部会

文教公安部会

福祉環境部会

地方創生商工部会

建設農水部会

八嶋は
こちらに
所属

広報委員長も
兼任しています



活動記録 CAMERA ROLL

視察

研鑽

交流



R5
5.19



**G7 富山・金沢教育大臣会合
「地元歓迎夕食会」出席**
教育警務委員長として出席

R5
6.8



**国土交通省住宅局「空家等対策の
推進に関する勉強会」**

R5
7.26-28



**教育警務委員会 県外視察
千葉県警本部にて**

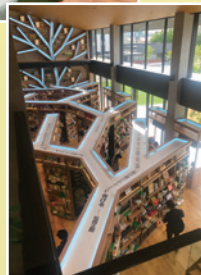
千葉・埼玉県警、千葉県立印旛明誠高校等を視察見学

**自由民主党 富山県議会議員会
令和の会 県外視察（福井）**

R5
8.8-9



北陸新幹線敦賀駅や敦賀市知育・啓発施設「ちえなみき」等を視察



**富山県日台友好議員連盟
事務局長を務めています**



R5
10.6



**中華民国（台湾）
112年 國慶酒會**

R5
11.18



**日台交流サミット in
仙台**

R5
10.25

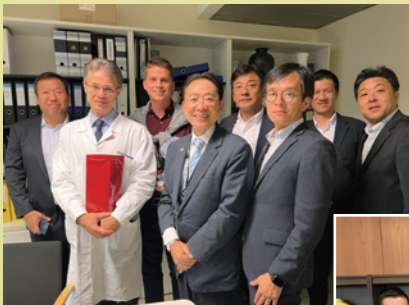


**自由民主党富山県連 政務調査会
現場視察「県道波岡作道線整備」**

工事の進捗状況と用地取得状況の確認

R5
10.16-20

▼センメルweis大学



**自由民主党
富山県議会議員会
文教公安部会
海外視察（ハンガリー）**

ハンガリー大使館や小学校・大学、企業等を訪問
ハンガリーの国内事情や少子化対策、公立小中高等学校の職業教育について調査



▼ドナウ川沿いに建つブタペスト国会議事堂

▼ハンガリー大使館



R5
11.16



**ブランディング対策特別委員会 県外視察
「大阪観光局・大阪商工会議所」**

「食の都・大阪」のブランド向上の取組について調査



やしまの県議会での質問・提言が新聞で取り上げられました!

- ◆「災害ボランティア支援は」(3月2日付 北日本新聞)
- ◆「外国人向け電話窓口相談倍増」(3月2日付 北日本新聞)
- ◆「防犯カメラの貸出し継続」(3月2日付 北日本新聞)
- ◆「外国人相談の活用問う」(3月2日付 富山新聞)
- ◆「富山-射水の1.2キロ 新年度に用地測量」(3月2日付 富山新聞)
- ◆「部活動の熱中症対策は」(9月26日付 北日本新聞)
- ◆「用水転落事故の防止を」(9月26日付 富山新聞)
- ◆「ヤングケアラー対策 支援会議設置」(9月26日付 富山新聞)
- ◆「民間の避難場所も必要」(9月26日付 富山新聞)
- ◆「魅力ある高校で協議」(10月3日付 富山新聞)
- ◆「美しい湾クラブ周知を」(12月7日付 北日本新聞)
- ◆「ダムの放流・役割住民説明会検討」(12月7日付 北日本新聞)
- ◆「漁網リサイクル施設整備」(12月7日付 富山新聞)
- ◆「湾クラブ PR 積極的に」(12月7日付 富山新聞)
- ◆「ダム放流情報提供」(12月7日付 富山新聞)

“新聞で取り上げられたその他の記事”

- ◆「県議会世話人会 正副委員長が内定」(4月22日付 富山新聞)
- ◆「県議会組織議会 正副委員長決定」(5月3日付 北日本新聞)
- ◆「給食費の公会計化県内ゼロ」(9月29日付 富山新聞)
- ◆「学校カウンセラー 配置時間を拡充」(12月14日付 富山新聞)
- ◆「キーホルダー贈る 射水公安協放生津」(4月21日付 富山新聞)
- ◆「地域安全願いカーブミラー清掃」(7月18日付 富山新聞)
- ◆「車両に曳山デザイン」(9月27日付 北日本新聞)
- ◆「路上駐車追放キャンペーン 射水公安協放生津」(9月28日付 富山新聞)
- ◆「富山県議会議員書道クラブ作品展」(11月1日付 北日本新聞)

※全て R5 年掲載分、順不同

数字で見る やしま浩久の活動と軌跡

定例会での質問数 (一般質問)

令和元年 27
令和2年 16
令和3年 15
令和4年 26

28

定例会での質問数 (予算特別委員会)

令和元年 0
令和2年 39
令和3年 36
令和4年 14

14

常任委員会での発言数 (県土整備農林水産委員会)~R5.2

令和元年 18
令和2年 28
令和3年 21
令和4年 21

7

やしま浩久の年齢 (R6.2.4 現在)

60

episode エピソード 寛政丸航海誌

一家業・八嶋倉庫の歴史

かつて北前船の往来で栄えた新湊地域。やしま浩久の政治資金管理団体および本紙のタイトルにも使わせていただいた「寛政丸」とは、そんな北前船の主力船の一隻の名前で、同時に現在のやしま浩久の生業でもある八嶋倉庫のルーツとも言えます。

八嶋家古来の言い伝えによると、「寛政丸」は600石の船であり、今で言う10tトラック9~10台分の物量を積載し運搬していた船です。富山(新湊・放生津)からは鳥取(境港)へ向かうルートと北海道(函館・小樽・余市)へ向かうルートが運航されており、各地の寄港地で米や肥料、葉草、昆布等の海産物・加工品、布や織物等を積みながら、日本海側をくまなく行き来していたようです。

600石という大きな荷物を、陸路よりも遙かに不安定な海上で運んでいた、当時の船大工の造船技術や船員達の航海技術の正確さには改めて感動させられるばかりですが、現在も寛政当時の思いはそのままに、お客様の大切な荷物を預かり、運ぶ心構えは時代を越えて普遍的なものがあります。

そんな寛政時代の先達に思いを馳せ、どんな荒波にも挫けずひたすら前進する覚悟を、「寛政丸」という名に込めました。「寛政丸」の航海が前途洋々たるものとなるよう、精いっぱい県政に邁進いたします。



いつでも!どこでも!
皆様のお声を聞かせてください!
お気軽に
お声掛けください!



やしま 浩久

〒934-0001 富山県射水市庄西町 2-4-16
TEL.0766-92-1613 FAX.0766-92-1633
ホームページ URL <https://yashima1613.jp>

県政報告は動画でもご覧いただけます! E-mail yashima1613@gmail.com

紙は、雷鳥コートを使用しています (R6.2.18 発行)